

アサヒ飲料株式会社北陸工場の「企業の森づくり活動」に参加しました

令和5年4月23日（日）、黒部市宇奈月町下立地内において実施された、アサヒ飲料株式会社北陸工場の「第7回 森づくり活動」に参加しました。

アサヒ飲料株式会社北陸工場では、各種飲料の原材料となる黒部川扇状地の伏流水を育む水源の森を保全するため、森づくり活動に取り組んで7年目を迎えます。これまでの活動では主に、クリの植樹と育成を行ってきましたが、これからは周辺の森林の整備と活用も合わせて行っていきたいと、今年は森林整備のために伐採した広葉樹を利用したなめこの植菌作業を実施しました。

活動当日は晴天のもと、社員のほか、地元下立の小学生親子、森林所有者である下立財産区など46名が参加しました。新川森林組合の指導を受け、周辺で伐採されたハンノキのほだ木にドリルで穴を開け、なめこの種駒をハンマーで打ち込みました。子供たちも一生懸命木製ハンマーを振っていました。参加者が多かったこともあり、準備されたたくさんのほだ木は次々に軽トラックに積み込まれていきました。積み込んだほだ木は隣接するスギ林内に運び、今度は皆で協力して荷台から下ろして林床に伏せ込みました。小さい子供もほだ木を抱えて、転ばないように注意深く運んでいました。

伏せたほだ木には2、3年で菌が回って、なめこが発生します。再び地元の子供たちが山へ入って収穫を楽しめるようになる頃には、アサヒ飲料の森が一段と豊かになっているように、県では引き続き森づくり活動を支援していきます。



会場全景

作業の様子



森林組合による説明



ドリルで穴あけ



種駒の打ち込み



手分けして作業に励みます



林内へ伏せ込み



皆さんお疲れさまでした